

# 【 R6年度陽南中学校 防災教育全体計画】

(改訂R6.4.1)

## 【防災教育の目標】 『自らの安全を自ら確保できる生徒の育成』

- 【めざす生徒の姿】
- ・ 災害に対する正しい知識や対応方法を身に付け、非常時に冷静に判断し、臨機応変に自らの安全や命を自分自身で守ることができる生徒（自助）
  - ・ 非常時に進んで他の人や地域の力となれる生徒（共助）

指導の側面	管理の側面
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教科， 道徳， 特別活動， 総合的な学習の時間を通して， 防災教育を推進</li> <li>・ 学校や地域での命を守る訓練の計画的実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建物や設備備品等の安全確保や耐震の強化</li> <li>・ 防災用具の完備や避難場所の安全確保</li> <li>・ 情報収集や情報伝達手段の確保</li> </ul>

### 「防災教育の観点」を明確にした指導の実施

#### 【認識力：知的側面】 → 【自助・共助力：情意的側面】 → 【行動力：実践態度】

- ・ 自然災害や危険場所の理解
- ・ 身近に潜む危険を見抜く
- ・ 避難方法など対応の理解
- ・ 場に応じた冷静な判断

- ・ 自分事として考え，常に危機感，緊張感をもつ
- ・ 「生きる」という強い信念
- ・ 全ての命を大切にす心情

- ・ 自分一人で避難できる
- ・ 臨機応変に避難できる
- ・ 他人にも避難を働きかける

わかる

助けあう

やりきる

具体的な指導（対応の仕方の確認＋具体的な行動を一人一人実践）

### ※いつでもどこでも防災教育 リスク判断

教室等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分の教室で，地震や火災が起きた場合の対応や避難経路を確認する。</li> <li>・ 特別教室や体育館などで，地震や火災が起きた場合の対応や避難経路を確認する。</li> <li>・ 理科室の実験中に火災が起きた場合の対応や避難などを確認する。</li> </ul>
校内等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 休み時間や給食時等，色んな場所・時に地震や火災が起きた場合の<b>リスク</b>及び対応を確認する。</li> <li>・ 自分の身を守るためにできること，他人のためにできることを確認する。</li> </ul>
校外等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 校外での危険場所，暴風雨等様々な非常変災に対しての<b>リスク</b>及び対応を確認する。</li> <li>・ 在宅中，登下校中，社会見学中に，地震等が起こった場合の<b>リスク</b>及び対応を確認する。</li> <li>・ 校外施設における，避難経路や避難方法を確認する。避難場所や備蓄倉庫等の確認。</li> </ul>

- （教科等の指導で）
- ・ 地震等災害の状況や恐ろしさを具体的に学ぶ。地域の危険箇所を学ぶ。
  - ・ 各地の自然災害，地域の危険箇所等をHR等で話題にする。